



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

東・名

上場会社名 株式会社 郷鉄工所 上場取引所  
 コード番号 6397 URL http://www.gohiron.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 若山 浩人 (TEL) 052(586)1123  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	618	—	△31	—	△39	—	△39	—
26年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △37百万円(—%) 26年3月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△3.28	—
26年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,283	216	4.1
26年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 215百万円 26年3月期 —百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,134	—	△103	—	△116	—	△117	—	△9.66
通期	6,634	—	99	—	72	—	70	—	5.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。が、株式会社郷イノベーションを当第1四半期より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	12,127,500株	26年3月期	12,127,500株
27年3月期1Q	18,613株	26年3月期	18,062株
27年3月期1Q	12,109,071株	26年3月期1Q	12,109,653株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が残るものの、各種政策の効果等により、景気は緩やかに回復してまいりました。先行きにつきましては、海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクが存在しており、依然として先行き不透明な状態は続くと思込まれます。当業界におきましても公共投資、民間設備投資は低調に推移し、厳しい状況にありました。

当社におきましても、積極的な営業活動を展開し、受注拡大に努めました結果、当第1四半期連結累計期間における業績は受注高は11億2,431万円、売上高は6億1,800万円、受注残高は13億8,819万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

破碎粉砕機事業におきましては、破碎機製品が増加いたしましたして、売上が4,352万円となりました。橋梁鉄構及び水処理装置事業におきましては、橋梁工事が減少いたしましたして、売上が4,561万円となりました。環境装置事業におきましては、環境整備用機器等が減少いたしましたして、売上が1億1,301万円となりました。ライニング製品事業におきましては、ライニング鋼管が増加いたしましたして、売上が2億6,182万円となりました。役務収益事業におきましては、前事業年度でゴルフ練習場事業を廃止しましたので、売上が2,252万円となりました。その他の機械事業におきましては、コンベア設備が減少いたしましたして、売上が5,244万円となりました。その他事業におきましては、鉄骨工事等が増加いたしましたして、売上が7,906万円となりました。

当期は、需要の低迷が続くなか業績の回復に努力いたしましたが、利益につきましては、営業損失3,149万円、経常損失3,915万円、四半期純損失3,970万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、52億8,337万円となりました。主な内訳は、現金及び預金14億752万円、受取手形及び売掛金9億99万円、たな卸資産10億2,873万円、有形固定資産16億7,277万円であります。負債は、50億6,721万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金11億9,821万円、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)23億1,341万円、長期借入金6億2,317万円であります。純資産は、2億1,615万円となりました。主な内訳は、資本金6億637万円、利益剰余金△4億481万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務書表を作成しております。

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日付「平成27年3月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました個別業績予想に、当第1四半期連結会計期間において設立しました株式会社郷イノベーションの業績が加わることとなりますが、当第1四半期会計期間は売上及び利益の発生はなく、平成27年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に与える影響も軽微なため、現時点において変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当いたしません。当第1四半期連結累計期間において、温浴施設・飲食店・旅館等の経営及びコンサルティングを行う子会社の株式会社郷イノベーションを設立し、新規連結いたしました。

この結果、当社グループは当社及び連結子会社1社によって構成されることとなり、事業の内容も温浴飲食事業が追加されることとなりますが、当該事業の開始時期が未定であるため、売上高はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成26年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,407,521
受取手形及び売掛金	900,993
商品及び製品	95,805
仕掛品	569,740
原材料及び貯蔵品	363,186
その他	57,225
貸倒引当金	△18,543
流動資産合計	3,375,929
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	663,141
土地	653,759
その他(純額)	355,874
有形固定資産合計	1,672,775
無形固定資産	21,536
投資その他の資産	213,131
固定資産合計	1,907,444
資産合計	5,283,373

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間  
(平成26年6月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,198,213
短期借入金	2,313,414
未払法人税等	1,082
賞与引当金	19,964
工事損失引当金	17,209
その他	314,215
流動負債合計	3,864,098
固定負債	
社債	103,500
長期借入金	623,175
退職給付に係る負債	90,459
資産除去債務	55,145
その他	330,840
固定負債合計	1,203,120
負債合計	5,067,219
純資産の部	
株主資本	
資本金	606,375
資本剰余金	1,352
利益剰余金	△404,811
自己株式	△2,038
株主資本合計	200,877
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	15,010
その他の包括利益累計額合計	15,010
少数株主持分	266
純資産合計	216,154
負債純資産合計	5,283,373

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	618,007
売上原価	525,959
売上総利益	92,048
販売費及び一般管理費	123,544
営業損失(△)	△31,496
営業外収益	
受取利息	49
受取配当金	718
業務受託料	833
保険代理店事業譲渡益	1,000
その他	857
営業外収益合計	3,458
営業外費用	
支払利息	10,355
その他	758
営業外費用合計	11,113
経常損失(△)	△39,151
税金等調整前四半期純損失(△)	△39,151
法人税、住民税及び事業税	588
法人税等合計	588
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,740
少数株主損失(△)	△33
四半期純損失(△)	△39,706



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△39,740
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	2,413
その他の包括利益合計	2,413
四半期包括利益	△37,326
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,293
少数株主に係る四半期包括利益	△33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

該当事項はありません。